成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより 71 号
R1. 7. 17

科学の甲子園に出場

全国大会ポスター

堂々と発表する羽地中Ａチーム

優勝トロフィー

７月１２日（金）、令和元年度の「科学の甲子園ジュニア」国頭地区予選会に参加するため、羽地中代表の２年生６名は、引率のＨ先生とともに国頭教育事務所の会場へ向かった。

科学の甲子園は高校生達が挑戦する全国大会だが、その下の中学生達が参加するのが、科学の甲子園ジュニアだ。

１０校、１９チームが参加した国頭地区予選大会は、まず全６問からなるペーパーテストを６０分で解くことから始まった。

１チーム３名で、チームで相談して解いても良いことになっている。

問題はマングースとハブに関する生物の問題や太陽と月の満ち欠けに関する地学の問題、化学の問題の他に数学の問題もあり、難しかった。

決勝に進むためには、このペーパーテストで上位４チームに入らなければならない。テストが終わり、採点、結果発表だ。なんと、羽地中Ａチーム（Ｕ・Ｆさん、Ｍ・Ｓさん、Ｋ・Ｋさん）が第４位に入って決勝進出であった。もう一方の、羽地中Ｂチーム女子は、学校名が書かれていなかったので、点数がなかったとのこと。試験監督から何度も学校名を書いてくださいとアナウンスがあったにもかかわらず、この始末。普段の授業態度が見えてくるようです。二度とあってはならない。

青から黄色に変化した

４チームでの決勝問題は、実験を観察して、その結果を科学的に説明するプレゼン合戦だ。他のチームは審査員となり、どのチームが一番良いプレゼンだったかを審査して投票する。

実験は、ＢＴＢ溶液というものにドライアイスを入れると、酸性から中性、アルカリ性へ化学反応し、色も青色から緑色、黄色へと変化していく実験であった。

解答は、実験の条件と化学変化から物質名を推論し、あててい

いくプレゼンであった。

羽地中Ａチームも正解のプレゼンをしていたが、惜しくも４位の結果であった。皆さん、お疲れ様でした。

１１月の地区中文祭でも科学グランプリ（Ｓ－１）があります。次も挑戦してみてね。

弁当の日 拝見

７月12日（金）は弁当の日でした。写真のお弁当は、２年3組のＴ・Ｈさんが作ったディズニーキャラ弁です。見栄えのする盛り付けで、見ていて楽しくなるお弁当ですね。味はどうかって？美味しいに決まっています。